



新年にあたって

—代表理事にインタビューしました—

一般社団法人 藤野観光協会 代表理事 山崎 睦文

<会員各位、藤野の皆さまにメッセージをお願いします>

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。少子高齢化、人口減少に伴って後継者や会員数が減っていく団体が多いなか、藤野観光協会の会員数は増加傾向にあります。大変喜ばしい限りです。これからも会員各位の事業がますます繁栄していきますよう、様々な活動に取り組み、首都圏にお住まいの方を中心に藤野の良さを積極的にアピールしていきます。変わらぬご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<昨年の観光協会の活動で印象に残っていることはどんなことですか>

1つめは、移住促進事業関連で私の実家（空き家）をリフォームし、賃貸契約を交わしたことです。最初は借りてくれる人がいるのか心配でしたが、募集をしたところ思いのほか希望者が多かったことに驚いています。



2つめは、ソフトバンク社と共同で藤野里山体験ツアーを開催できたことです。わずか1日半で定員オーバーになるほどのスピード感での募集活動など、大企業の組織力には感心させられました。今年も開催する予定ですが、さらなる広がりを目指しています。



<新たな年に向けての抱負を聞かせて下さい>

3年前から相模原市と八王子市との連携事業が実施されています。今年はさらに上野原市とも連携に向けての協議が進むことと思います。イベント等を通じて交流を深め、観光を通じた他の自治体との連携事業を展開していきたいと考えています。

<将来に向けての「夢」を聞かせて下さい>

スマホやインターネットの普及によっていろいろなことが便利になった反面、子どもたちを取り巻く過去最悪ではないかと思えます。例えばゲームやネットへの依存症の子どもが増えていることです。このまま放置されたままですと、

大人になって薬物やアルコール、ギャンブルに依存してしまい、人格的にもすぐにキレやすく一定の職にもつけないことになるのではないかと懸念されます。既に事の重大さに気づいた中国や韓国では国を挙げて対策に取り組んでいるのに、日本では一向に何も聞こえてこないのが不思議でなりません。

そのような子どもたちを一時的にでもネット社会から切り離して、豊かな自然の中で更生させる施設を開設することが私の夢ですが、今すぐできることとして、藤野里山体験ツアーを活用し、さまざまな問題を抱える子どもに、自然の中で遊ぶ本当の楽しさを体験できる場を提供したいと考えています。

やってくる春から始めてみませんか 里山体験ツアーの受入れ

2015年より実施しています藤野里山体験ツアーですが、今年は企業の福利厚生事業、教育旅行、訪日外国人客向けとしてツアーを実施する可能性を探っていきたくと思っています。さらに里山体験ツアーを津久井地域に広げていこうとする取り組みも相模原市との市民協働事業として進めています。これらにあたっては受入れ家庭を増やすことが不可欠です。



ご関心のおありの方、観光協会までご連絡下さい

TEL 042-684-9503(平日 8:30-17:00 受付)

「ふじのね」より



藤野観光案内所「ふじのね」は観光客の皆さまにはおみやげとして、地元の方には贈答用として、特産品やアーティストの作品等を取り揃えています。本年も引き続きよろしくお願い致します。

なお、月替わりで実施していますミニギャラリー展の今後の予定は以下の通りです。駅にお出での時等ご覧いただければと思います。

2月 シゲホニヤラカ(重信知宏)「寝入りばなの盆踊り展 ~交信 2019~」(電気おもちゃ他)、3月 木下純子「春の不思議+柿渋染めバック」、4月 加藤せき「加藤せき展」(絵画)、5月 副島微美子「副島微美子 白磁展」(磁器)、6月 竹嶋 玲「陶とアクセサリー」

